

1 森林及び林業の状況

森林の状況 市域の76%が森林

(面積：ha・材積：千m³)

区分	全域面積	総数	森林率 (%)	民有林		国有林	林家数
		面積		面積	材積	面積	
静岡市	141,185	107,337	76	103,074	20,234	4,263	3,274

資料：平成25年4月森林簿及び平成24年度版静岡県森林・林業統計要覧

民有林の経営状況林家と林業経営体の構造（保有山林規模別）55%が零細林家

区分	総数	1～5ha	5～10ha	10～50ha	50ha以上
林家数	3,274	2,019	481	641	133
経営体数	562	78	128	261	95

資料：2010年農林業センサス

林道整備の状況 急傾斜地が多く作業効率が悪い

地区名		開設延長 (m)	森林面積 (ha)	林道密度 (m/ha)
静岡市	旧静岡市 (下記を除く)	72,059	14,145	5.1
	大河内	27,971	4,746	5.9
	梅ヶ島	26,039	5,687	4.6
	玉川	95,206	8,846	10.8
	井川	111,723	48,775	2.3
	清沢	9,318	3,948	2.4
	大川	29,865	5,754	5.2
	小計	372,181	91,901	4.0
	旧清水市	55,688	9,727	5.7
	旧蒲原町	9,829	419	23.5
	旧由比町	15,030	1,027	14.6
組合 森林	静岡市	20,399	—	—
	小計	20,399	—	—
合計		473,127	103,074	4.6

林産物生産量 しいたけ生産が多い

林産物	生産量	生産額(推定)
しいたけ(生)	200t	1億87百万円

資料：平成24年度版静岡県森林・林業統計要覧



主要事業 いきいき森林づくり推進事業

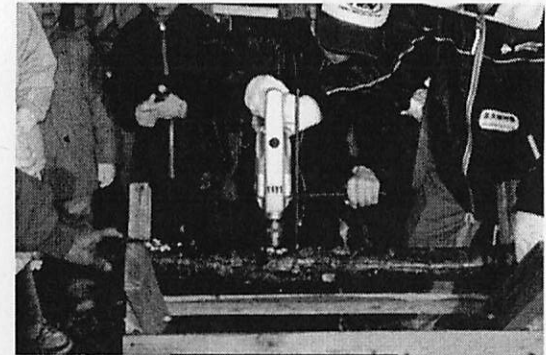
目的	木材生産機能とともに、水源のかん養、国土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など森林の有する多面的機能を高度に発揮させ、健全で活力のある森林をつくる。
事業概要	<p>市民共有の財産として森林を健全な姿で保ち、次の世代に伝えていくために創設した「静岡市森林環境基金」の運用益等を主な財源として実施。（平成23年度～32年度の10年間 毎年約3億円の基金投入） 低コスト林業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐 ・作業道等開設助成 ・林業生産施設（作業機械）整備事業助成（～H23 各年1台、H24 3台、H25 10台、H26 7台） ・森林教室（昆虫観察、自然観察等） ・林業作業員災害保険加入促進事業助成 ・新規参入者支度金助成事業助成



林業用グラップル



林業運搬車

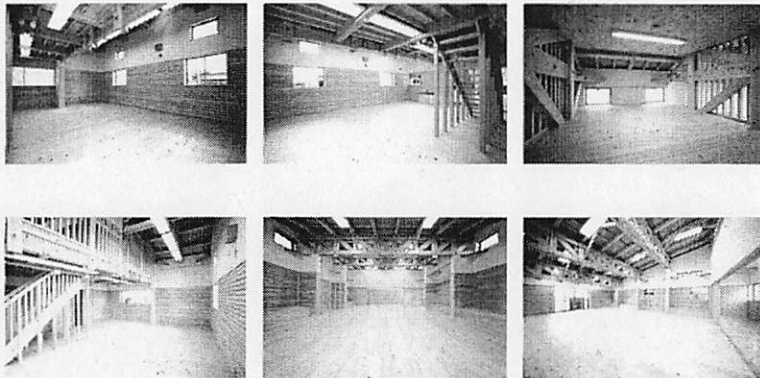


森林教室

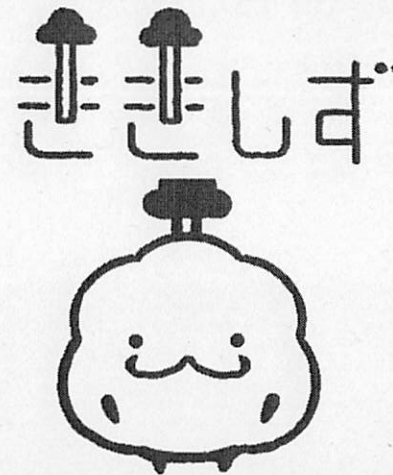
主要事業 静岡地域材利用促進事業

<p>目的</p>	<p>木材の地産地消を図るため、木造住宅や公共的施設の建築主に静岡市産の建築用材の提供を行う。</p>
<p>事業概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 柱土台100本プレゼント事業による地域材(構造材、内装材)を提供する事業へ助成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅約150棟分(構造材及び内装材ともに各150棟分)(H15～25:1,536棟、内装材261棟) 2 めくもり空間推進事業による公共的施設(幼稚園、保育園等)に建築資材を提供する事業へ助成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園2園分(H21～25:6施設) 3 市産材活用プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ききしずウェブサイトによる情報発信 ・オクシズ森林(もり)の市開催(H26.1.19) 4 みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事業(実績:3件 4,650千円)

学校法人桜花学園 桜花幼稚園園舎新築工事



しずおか 木のこと 木のモノ 木のくらし



<http://www.kikisiz.jp/>

2 野生鳥獣被害対策の状況

野生鳥獣の被害面積・被害額は減少傾向

	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
被害面積	721	673	607	368	399
被害額	229,961	193,601	157,398	96,636	105,989



有害鳥獣の捕獲頭数は増加傾向

捕獲許可に基づく有害鳥獣捕獲数の推移 (中山間地振興課)

	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
イノシシ	199	173	269	250	522	624	912	653	1,430	600
サル	66	37	151	131	121	158	242	155	397	151
ニホンジカ	47	51	63	78	133	158	225	281	447	671
ハクビシン									73	72
アライグマ						1	6	20	84	52

個別型から団体型、地域一体型へ

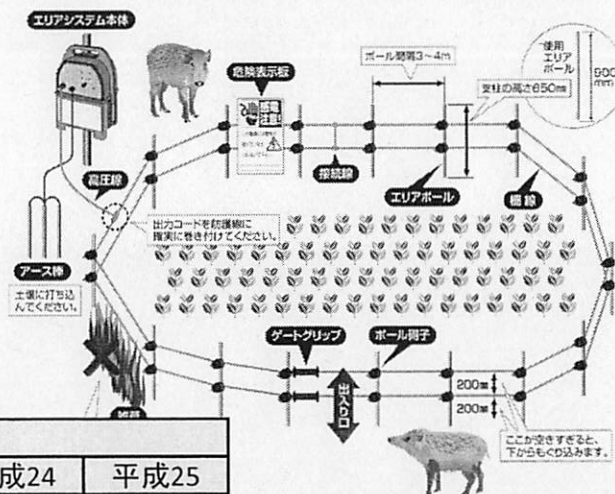
野生鳥獣被害防除事業実績 (ha、件、千円)

	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
防除面積	112.0	110.0	97.2	66.3	113.1
申請件数	377	235	170	153	184
(個別型)	356	205	140	126	129
(団体型)	20	29	29	24	48
(地域一体型)	1	1	1	3	7
補助額	39,737	19,425	21,228	26,517	24,424

猟友会の会員数は減少傾向

静岡・清水・庵原猟友会の会員数の推移 (人)

	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
会員数	916	868	824	794	809	772	752



主要事業 野生鳥獣被害対策事業

<p>目的</p>	<p>自然環境の変化に伴い、本来山間地に生息する野生鳥獣が住居付近にまで出没し、農林産物への被害が増大している。野生鳥獣による被害から農林産物を守り、営農意欲低下を防ぐ。</p>
<p>事業概要</p>	<p>野生鳥獣による被害から農林産物を守り、営農意欲低下を防ぐための被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ①野生鳥獣被害防除事業 <ul style="list-style-type: none"> ・被害対策用防除資材の購入等に対する助成 (個別型・団体型・地域一体型) ※地域一体型実績(玉川桂山ほか13所H20～25) ②有害鳥獣捕獲に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣捕獲報奨金 (25年度 イノシシ600頭 サル151頭、ニホンジカ671頭、ハクビシン72頭) ・見回り報奨金 ③野生動物被害対策研究協議会への助成 ④有害鳥獣被害防除活動への支援 ⑤有害鳥獣対策地区協議会への助成 ⑥鳥獣被害対策緩衝地帯整備モデル事業

